

[32_03]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470351>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 32 (3), 1999-09. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：



編集後記

本センターが毎月お送りしているセンターニュースをはじめ、会議の日程調整や議事録の確認、お知らせ、レポート提出など、様々な情報が電子メールとして行き交うようになりました。最近では動画像、音声も簡単に送ることができるようになりました*。しかし、電子メールの基本はやはり文章です。

電子メールの文章はテキスト形式です。テキスト文章の困ったところは、読む人にとって誰からのメールも画面では同じ字体で表示されることもあり、書いた人の意図が必ずしもうまく伝わらないところです(もちろん、面と向かって口で言った方がより誤解されるということもあります)。相手の一部の文章だけ切り出してその部分の挙げ足をとるような意味のない罵り合いのデータがネットワークを汚すこともよくあります。

電子メールの世界では、できるだけ感覚に訴えて自分の意図を伝えようと、手紙などにはあまり出てこない技巧が使われます。以下は個人的なメールによく見かける例です。

例文	説明
こまりましたね～ VPPっていうのがありますから・・・ 古本を売ったことあります?????	音を引っ張る。よく使います。 余韻を残す。女性に多いような… 疑問符の連続。
ま、ゆっくり返答していただいて結構です。(^^) んー(^_^;) メールアドレスの間違いはすみませんでした。<(_ _)>	笑ってる。 汗をたらしている。 平身低頭。
カラオケ行きましょう。昼間から年休とって。(笑) ♪♪♪教一しえてーくだああああさいいいい♪♪♪ 配布するのを待ってもらいたいくらい。(泣) 「大目に」みてやってください。(爆)	半分冗談のつもり。 「#」「b」なども JIS 記号です。 同情を引こうとする。 「自爆」の意味らしい。

ただし、これらの技法を連発すると、「うわついた」感じが強くなり、かえって印象が悪くなります。また、最初からこのような文章に拒否反応を示す人も多いと思います。

やっぱり(^^)、しっかりした(?)文章があつてこそ(笑)、これらの技巧が浮き立つのだと思います。(爆).....だめだ、じっくりこない。話を変えます。

いい文章を書くには、いい文章を読むのが一番です。先日、織田作之助さん(1913-1947)の『猿飛佐助』に出てくる師匠と弟子の会話:

「昼ニ書ヲ読ミシハ？」

「サレバ、書ハ読ミタル者ヲ聰明ニ成ストハ限ラザルモ、読マザル者ハ必ズ阿呆ニナラン」

に感銘を受け、毎日少しずつ本を読むように努める今日この頃です。

つまり、ただ面白そうな本を読んでいるだけの W

*画像や音声ファイルは、特に容量が大きいことと誰もが復元する手段を持つわけではないことから、現状、実際に送る前に相手がそれらの情報を受け取ることができるかどうかまず確認しましょう。そうでないと、「単なる迷惑メール」だと受けとられかねません。いきなり送りつけるのではなく、自分のホームページからたどれる場所などにファイルを保存し、相手にはファイルへのアクセス先を知らせるのがいいと思います。